

＜ベルボン製品を正しく安全にお使いいただくために＞

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。  
お読みになった後は必ず保存してください。

安全上の  
ご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性・または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。


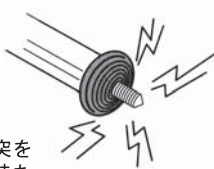

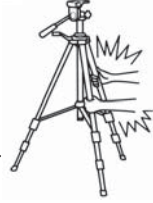







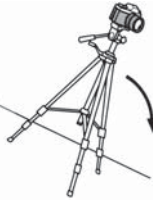






■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

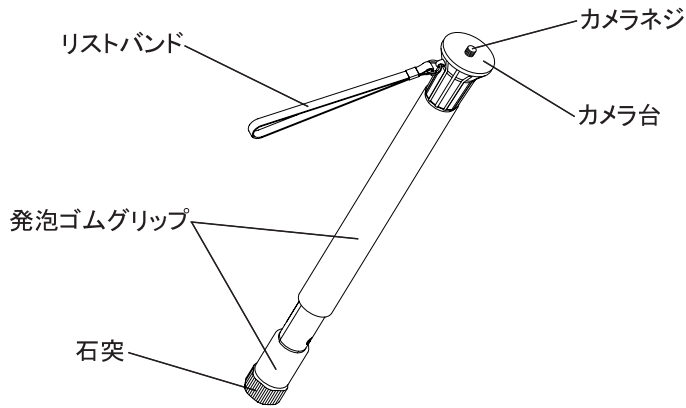


このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告		注意	
  <p>スパイク付石突を備えた三脚を持ち運びするときは、安全のためスパイクを出さないでください。死亡や大ケガの原因となります。</p>	  <p>脚を開閉するときは、十分に注意してください。あやまって指をはさむとケガにつながります。慌てずによく確かめて操作してください。</p>	  <p>三脚にカメラを装着したままでの移動は、お避けください。予想以上の力が加わった場合、カメラが落下する恐れがあります。</p>	  <p>三脚の自重の2倍を超えるカメラの使用は、安定性を損ないますのでお避けください。カメラブレの原因となったり、三脚が転倒する恐れがあります。</p>
  <p>カメラを乗せたまま三脚や雲台の操作をするときは、カメラ本体を必ず手で支えながら行ってください。三脚やカメラが不意に動き、カメラを破損したり手を三脚にはさみケガをする恐れがあります。</p>	  <p>ぐらついた台の上や傾斜面など、不安定な場所で使用する場合は十分に注意してください。特に高位置での使用の場合、頭や足の上などに落下すると、死亡や大ケガにつながる恐れがあります。</p>	  <p>各々のネジや固定レバーは、必要なとき以外は確実に固定してご使用ください。ネジや固定レバーがゆるんでいると、三脚の転倒やカメラ破損の原因となります。</p>	 <p>三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補給はしないでください。十分な性能が発揮されなくなる場合があります。</p> 
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小さなお子様の手の届く所には、設置・保管しないで下さい。手をはさんだり倒れたりして、ケガをする恐れがあります。</li> <li>● 三脚は、金属部品やカーボン繊維で構成されておりますので通電します。電気の側や高圧線の近くでの使用は避けてください。また、落雷の恐れがある場合は絶対に使用しないでください。</li> <li>● 三脚の上には絶対に腰掛けたり乗ったりしないでください。転倒し死亡や大ケガにつながります。</li> <li>● 寒冷地でご使用される場合は金属部が凍結する恐れがありますので、素手で操作しないでください。</li> </ul>		 <ul style="list-style-type: none"> <li>● カメラを取り付けた状態で、不安定な場所に放置したり立てかけたりしないでください。転倒の恐れがあります。</li> <li>● 夏季など高温になる自動車内等には放置しないでください。オイル漏れや故障の原因となります。</li> <li>● 寒冷地でご使用される場合は十分な性能が発揮されない場合があります。特にビデオ用オイルフリード雲台では、パン・ティルトの動作が重くなったり動かなくなることがあります。</li> <li>● 三脚を携帯するときは、部品の脱落防止のため各々のネジ等を、しっかり締めつけて持ち運びしてください。</li> <li>● 写真機、ビデオ、望遠鏡等での撮影・観察以外の目的で使用しないでください。</li> </ul>	

## 各部の名称

このたびは、ベルボン製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



※製品改良のため予告なしに仕様・デザイン・諸元などを変更することがありますのでご了承ください。

## 製品仕様

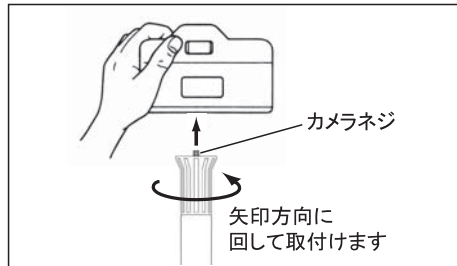
	ULTRA STICK 40	ULTRA STICK 50
カメラ台(径)	約33mm	約33mm
全高	約1435mm	約1308mm
縮長	約420mm	約325mm
質量	約220g	約210g
脚パイプ径	21, 18, 15, 12, 3, (9.5)mm	
段数	4段	5段
カメラ取付ネジ	UNC1/4	UNC1/4
最大積載カメラ質量	2kg	1.5kg

※記載の数値は平均的な値です。製品は組み合わせ部品で構成されておりますので、記載数値と若干異なる場合があります。

### ★ULTRA STICKは…

最新技術のダイレクトコンタクトパイプの採用により、高い伸縮比・抜群の操作性を実現。いつでも気軽に持ち運べます。関節部の強度も飛躍的に向上しており、軽量一眼レフカメラにも対応します。

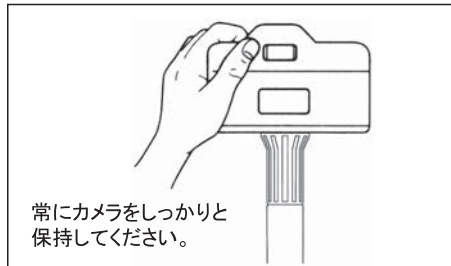
## カメラの取り付け方



カメラのネジ穴にカメラネジを合わせ、一脚全体を上図矢印方向に回して固定します。

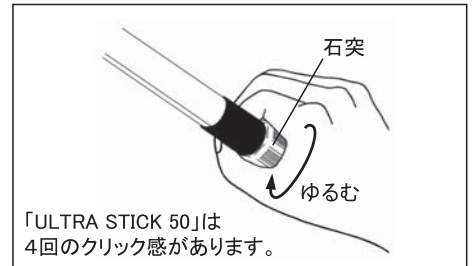
⚠ 一脚にカメラを取り付ける際や雲台を操作する際は必ずカメラをしっかりと保持しながら行ってください。カメラの落下・破損の原因となります。

## アングルの調整



カメラをしっかりと保持しながら、一脚全体を左右又は前後にかたむけてアングルを決め、シャッターをきります。雲台(別売)が付いていない時は、縦位置撮影はできません。

## 脚の伸縮・固定①



脚を伸ばすには脚先端の石突を握って、ゆるむ方向に一気に回します。この時「カクッカクッ」と3回(又は4回)のクリック感があります。

※石突を握る際は泥等で手を汚さないようご注意ください。

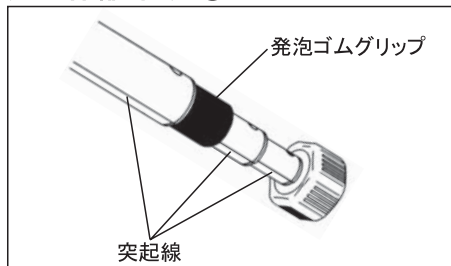
## 脚の伸縮・固定②



次に脚を最後まで引き伸ばし、再度石突をしめる方向にキツめに回して脚を固定します。脚を縮めるときは逆の手順を行ってください。

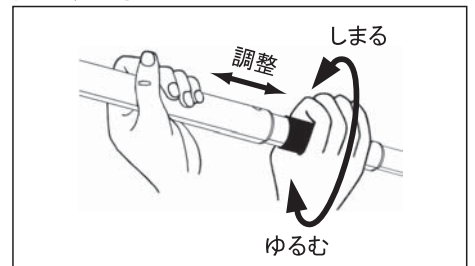
※脚を縮める時に最後まで脚を押し込む際、石突と脚の間で指(手)を挟まないようご注意ください。

## 脚の伸縮・固定③



※脚伸縮は突起線が合うように、まっすぐ出し入れしてください。  
 ※必ず機材を乗せる前に、一脚を上から押さえ脚が縮まないことを確認してください。  
 ※二段目がゆるみやすい場合は、発泡ゴムグリップを握って増しジメをすることで、さらにしっかりと固定することができます。

## 脚の長さ調整



脚の長さを調整するには二段目の発泡ゴムグリップを握り、矢印のゆるむ方向に回してからおこないます。調整し終わったら矢印のしめる方向へキツめに回し脚を固定します。

## 携帯時の注意



撮影場所の移動などの際は、必ず一脚からカメラを外して携帯してください。カメラを取り付けたまま携帯すると、予想以上の力が加わりカメラが落下・破損する恐れがあります。

## お手入れについて

- ご使用後は湿った布で汚れを拭きとった後に、乾いた布でよく拭いて保管して下さい。特に海岸および山岳地帯でのご使用後は、そのままの状態では放置すると潮や砂・泥等により錆びや故障の原因となりますので、必ず上記のお手入れをして下さい。
- 清掃の際はシンナー等の薬品は使わないで下さい。

## アフターサービス

- 修理または部品を紛失した場合は、販売店が弊社サービスセンターへ直接お問い合わせください。
- 本製品の性能部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しております。  
 ※この期間後であっても修理可能な場合もあります。

ベルボン お客様ご相談センター

0551-25-6155

製造・販売 サービス **ベルボン株式会社**  
 〒165-0027 東京都中野区野方6-1-5  
 電話: 03-5327-6133 FAX: 03-5327-6114  
 ホームページ: <http://www.velbon.com>

**Velbon**